



第 150号 2016年 9月 14日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263

よっせ

八月三十一日

小学生を対

象にした「八月三十一日」

というタイト

ルの劇があり



ました。勉強嫌いの悪ガキが主人公で、怠けてばかりいて、宿題を夏休みの最後の最後にまたサボって、遊びに行ってしまう。そして、最後に親から大目玉を食らいます。親が言います。「七月、八月と二カ月続いて三十一日まであるのはなぜか、八月の最後の一日は宿題をやるために神様が特別に用意してくださったのだ。それまでもないがしろにしおって」と。たしかに大の月と小の月は代わりばんこにくるのに、七、八月は大の月が続きます。宿題をやるための一日だったというわけです。

なぜ六十年以上前のことを覚えているか、というと、小生はこの主人公の悪ガキを演じたからです。劇の中で、まんじゅうを食べながら、窓から

抜け出す場面がありました。

緊張して、のどがカラカラだったので、のどを通りません。舞台の上で物を食べるのって難しいんだと痛感しました。

各小学校からひと組ずつ出場する演劇コンクールでした。会場は木造のオンボロの公会堂です。冬のすきま風がヒューヒューと吹き抜けます。舞台では真夏の衣装、震えながら演じました。

一応、学校では誰が主役を演じるかの選考会がありました。今でいうオーディションです。もちろんそんな言葉は知りませんでした。各クラスから選ばれた候補者が、学年の先生方の前で、セリフをしゃべったり、何かの仕草をやったりしたと思います。とにかくハンサムなN君やスマートなK君を抜いて小生が当選しました。コンクールの結果を覚えていないのは成績が思わしくなかったのでしょう。



以前は、北

海道や東北は別として、
二期は九月一日が始業
式と決まっています。
最近の子供たちは気の毒
に、八月の末から二期
が始まってしまいうよう
です。もうこんな芝居は成
り立ちませんね。

大切なもの



「よっこらせ」の最終
号にあたって、今いちば
ん大切だと思っているこ
とを書きます。

私は一九四三年生まれ
ですが、自分が生きてい
る間に日本国憲法が危う
くなる日が来るとは、ま
ったく思っていませんで
した。悪夢のような太平
洋戦争を経験した国民が、
平和主義の精神を捨てよ
うとする日がこようとは。

日本国憲法は、民主主
義・平和主義・基本的人
権の尊重の三本の柱の特
色としています。この憲
法をいじろうという人た
ちは、この三本柱を崩そ
うとしています。憲法も
永久に不変と言うことは
ないでしょう。時代に沿
わないことも出てくるか

もしれません。しかし、
三本柱は守ってほしい。

ほんの数年前まで、ま
さか日本国憲法が改悪さ
れそうになるとは思っ
ていませんでした。時代に
合わせて変えていく必要
がある、というもつとも
らしい宣伝に惑わされて
はいけないと思います。
平和主義を骨抜きにした
い、と言う人は、口では
そうは言いません。あく
までも平和を、国民を守
るために、と言います。

戦争のできる国にする
ためには、言論の自由な
どの基本的人権を制限す
る必要が出てきます。ま
た自由や民主主義にも制
約をつけようとしています。
つまりこの三本柱は互い
に結びついているのです。
庶民の思いや願いに沿
って政治が行われるのな
ら嬉しいですが、実際は
一部の特権階級の思惑に
従うのです。国民のため
というオブラートに包み
こんで。このオブラート
に多くの人々がコロッと
やられてしまう。

ある歴史家が「さきの

戦争のとき、国民は騙さ
れて戦争に協力させられ
たが、今度また騙される
ようなことがあったら、
それは国民のほうに責任
がある」という意味のこ
とを述べています。これ
をしつかり受け止めたい
と思います。

商品検査の意義

「暮らしの手帖」の編集
長だった花森安治の言葉
に「ゼニさえもうかれば、
国民の健康もモラルも、
知ったことじゃない、と
いうゼニモウケ・アニメ
ル」とあるそうです。高
度成長期には特にこの傾
向があったようです。公
害もこういう心の持ちよ
うと無関係ではないでし
ょう。庶民の力で不良品
を撲滅させたいですね。

長年の「愛読」に感謝

豆腐の味噌汁を「博奕汁」
と言いました。
賽の目に切る
から、と。皆
さん、ごきげ
んよう。



◆8月4日 夏祭り



みなさんにお昼のごちそう作りに励んでいただいた。たこ焼きは大人気、10個も食べられた方も。午後は景品どっさりのヨーヨー釣りなどのゲーム。盆おどりで汗を流した後はかき氷、いつもブツブツ言ってるしゃる方も、歩くのが不自由な方も今日は笑顔いっぱいでした。



◆8月6日 早く良くな〜れ

土曜日のメンバーの一人が入院した。みんな「どうしてるかなあ?」「ごはん食べてるかいねえ」「早く帰ってくりゃいいだに」と心配してる。だから、写真を撮って、寄せ書きして、鶴を折って…ご家族に渡そうってことに。病院は、長居するところじゃないでね。

◆8月10日 おいしい水分補給

熱中症にならないよう、毎日いろいろ飲んでいただいております。緑茶、麦茶、シソジュース、今日のご近所でいただいた瓜やスイカも途中でお出ししました。まだまだ暑い日が続きます。水分たくさん摂って夏をのりきりましょう。

◆8月16日 ピーナツさん

今月もピーナツさんが来所。とっても楽しみにしているわけを、まとめました。

- 1 みんな知ってる懐かしい歌
- 2 マイクを持たせて下さる
- 3 大きな字の歌詞をホワイトボードに貼ってくださる
- 4 歌いよい早さでの伴奏
- 5 お話しが上手



◆8月25日 やすらかに・・・

お元気な時から十数年、ここに通って来てくれていたYさん。本日、ご自宅でお亡くなりになりました。一緒に旅行に行ったり、お風呂に入ったり・・・歌がお上手でたくさん聞かせてくださいましたね。そうそう・・・叱られたこともあったなあ・・・。あちらへ行ったら、あちらのここ倶楽部で先輩方と楽しんでくださいね。ご冥福をお祈りします。

◆9月2日これが現実?

施設に入った方に、会いに行った。ここにいるときは手引きで歩行し、おしゃべりもしていたが、今日見たその方はリクライニングの車いすに乗り、ゼリーを食

べさせてもらってた。「〇〇さん、わかる?」と私の名前の上を言ってみたり、興味のあるものを耳元でささやいてみたり。声が聞きたくていろいろ今までの思い出の話をしてみても、一言も声を聞けなかった。施設に入って半年・・・言葉は出なかったけど、私が誰か本当はわかってたと信じてる!だって、十数年一緒に過ごしたもんね。

◆9月5日 敬老のお祝い

昨年、米寿のお祝いで市からお祝い金をいただいたTさん、今年88歳になったNさんに「今年から米寿のお祝い金はなくなったそうだよ」。「エー!ずるい。去年もらったの半分ちょうだい」ってNさん。「だめだめ!早いもの勝ちだよ」ってTさん。来年米寿を迎えるKさんも声を大にして「ずるい!」。みなさん敬老のお祝い楽しみにされているんですね。

大丈夫、ちゃんとお祝いしてくださいませよ。みなさん元気に米寿を迎えてくださいね。

